

川崎病学会 演題募集のお知らせ

台風が日本を通り過ぎるようになり、梅雨も間近になりつつある今日この頃です。皆様におかれましては、ますますご健勝のことと喜び申し上げます。

本年10月9日（金）、10日（土）に鹿児島県医師会館で第35回 日本川崎病学会・学術集会を開催させていただきます。

5月15日から一般演題の募集を開始します。一般演題に加えまして、会長要望演題として「ステロイド初期併用療法の効果の検証」も募集いたします。どうぞよろしくご検討をお願いいたします。

学会の準備も進めておりますが、教育講演2題とランチオンセミナー2題を計画しております。

教育講演では鹿児島大学の伊藤隆史講師による血管壁と血小板・白血球の関わりから血管炎について解説していただくことで川崎病の病態を改めて考える新たな機会になるかと考えます。また福岡こども病院院長の原寿郎先生から川崎病の病因についてご講演いただきます。

ランチオンセミナーとして特別講演を2題準備しました。鹿児島大学の武井修二教授からは豊富な膠原病の経験・知識から川崎病の病態や治療について切り込んだ講演をしていただき、新たな目線で川崎病を見直すことができるものと考えております。また、鹿児島大学の丸山征郎教授からは炎症と血管炎・血栓についての講演をしていただきます。スケールの大きい話で多くの皆様も感銘されることと確信しております。

教育講演①10月9日金曜日

講師：伊藤隆史 鹿児島大学大学院 講師

タイトル：血小板－白血球－血管壁のクロストークと炎症

教育講演②10月10日土曜日

講師：原 寿郎 福岡こども病院院長

タイトル：川崎病の病因（仮題）

ランチオンセミナー①10月9日金曜日

講師：武井修治 鹿児島大学医学部保健学科 教授

タイトル：膠原病治療からみた川崎病治療のメカニズム

ランチオンセミナー②10月10日土曜日

講師：丸山征郎 鹿児島大学大学院 教授

タイトル：PAMPs/DAMPs-インフラマソーム枢軸と血管炎・血栓症

多くの方々のご参加をいただき、熱く有意義なディスカッションを行える機会を提供したいと考え、今後も準備を進めていきたいと考えております。

ホームページをどうぞ参照ください。<http://www.procomu.jp/jskd2015/>
どうぞよろしく願いたします。

平成27年5月

第35回 日本川崎病学会・学術集会 会頭

野村裕一